

<別紙>

保健師職能交流集会<分科会①>

テーマ：災害時における保健活動

目的：①災害が起きたとき、保健師としてどのような保健活動をするのか考えることができる。

②日頃の準備として必要なものは何かを理解することができる。

対象者：県・市町保健師、災害時の保健師活動に関心のある方

内容：①映画「1000年後の未来に」を見ての感想を語ろう（20分）

②グループワーク「災害に備えて今準備できることはなにか」（50分）

③「今、伝えたい！災害看護」（2014年8月 長崎県看護協会発行）編著者からのメッセージ

一瀬 豊子氏 元長崎県保健師（元長崎県看護協会副会長）（30分）

④発表、まとめ（15分）

保健師職能交流会<分科会②>

テーマ：保健師の保健活動に関する指針（通称：保健師活動指針）を活用していますか

目的：①保健師活動指針の再確認し、各所属での話し合いや指針に基づいた保健師活動を展開するための取組を推進する。

②指針に基づいた保健活動をすすめるために「統括保健師」の役割について共有し、配置に向けて考える。

対象者：県・市町保健師、その他関心のある方

内容：①保健師活動指針について（20分）

②指針を基にした取組事例報告（40分 15分×2事例）

③GW 「私の職場でもこんなことから始めてみよう」（45分）

④発表、まとめ（15分）

保健師職能交流会<分科会③>

テーマ：「小児の在宅医療」長崎県の取組

目的：長崎県の取り組みを知り、看護職の立場から役割や連携システムについて考える

対象者：県・市町保健師、在宅医療に携わる看護職、その他関心のある方

内容：①長崎県の取り組みを知る（その1）（30分） 長崎県医療政策課担当者

② // （その2）（30分） 長崎大学医療連携室担当者

③GW

「小児の在宅医療・在宅生活にどんなことに関わることができる？」（45分）

④発表、まとめ（15分）

保健師職能交流会<分科会④>

テーマ：ここがポイント！ストレスチェック

目的：労働安全衛生法の改正に伴い、労働者数50人以上の事業場にストレスチェック制度の実施が義務づけられた。「実施者」としての保健師が制度を理解し、長崎県という地域性を踏まえて情報を共有し、日ごろの産業保健活動で培った職場支援のパイプを Base にしたストレスチェックの効果的運用を模索していく。

対象者：ストレスチェックの運用にかかわる保健師、その他関心のある方

- 内容：①ストレスチェック制度の基本事項(15分)
②ストレスチェック実施の実際(活動報告)
～ストレスチェック実施機関の保健師から～(30分)
～集団分析の結果からの職場づくりのコツ～(30分)
③グループワーク「これならいけるストレスチェック」(35分)
④発表、まとめ(15分)

保健師職能交流会<分科会⑤>

テーマ：「地域包括支援センターの保健師活動」基本の「き」

目的：地域包括ケアシステム構築・推進の要として期待される地域包括支援センターの保健師活動の基本を振り返り、学び合うことによりステップアップのヒントをつかむ

対象者：地域包括支援センターの保健師、その他関心のある方他

- 内容：①活動報告「先輩に学ぼう！」(60分 30分×2事例)
先輩からの事例報告
②グループワーク「私の活動も聞いてください」(45分)
③発表、まとめ(15分)